






安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読み
 のうえ、指示に従って正しくご使用ください。
- 注意事項は「 警告」・「 注意」に区分しています。

 警告	<p>誤った取扱いをすると、使用者が死亡 または重傷を負う可能性が想定される 内容のご注意です。</p>
 注意	<p>誤った取扱いをすると、使用者が傷害 を負う可能性が想定される場合、およ び物的損害のみの発生が想定される内 容のご注意です。</p>

なお「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

〈安全に対する注意事項〉

警告

- 切断作業時は、切断した破片・端材が落下して危険ですので、ヘルメット・保護メガネなどの保護具を必ず着用して下さい。又、周辺の作業者にも十分注意して作業を行って下さい。
- 足場の不安定なところでの作業は、作業者が滑ったり落下するなどたいへん危険です。正しい姿勢で作業できる安定した足場を確保して、作業を行って下さい。
- 可動刃の刃先は、機構上たいへん鋭利になっています。手指を負傷する恐れがありますので、手指を直接刃先に近づけないようにして下さい。
(刃の取り替え時は、必ず保護手袋を着用して行って)
下下さい。
- 切断した材料の端面には、鋭利なバリが発生し、直接手指で触れると負傷しますので、保護手袋を着用して下さい。



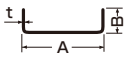
注意

- この取扱説明書に表示された、切断対象材・能力の範囲で使用して下さい。チャンバーの刃やハンドルは、建築用鋼製天井地材の野縁・野縁受け(JIS A6517・1989)の切断専用で製作されたものです。切断対象材として指定したものの以外の切断や、切断以外の用途に使用されますと工具の破損や思わぬ事故の原因となりますので指定以外の用途には、使用しないで下さい。
- 切断は固定刃の指定された位置で必ず切断して下さい。指定以外の位置で切断したり、刃をこじたりしますと、工具の破損や思わぬ事故の原因となります。
- チャンバーのハンドルに延長パイプを取り付けたり、刃を改造したりすることは工具の破損につながりますので絶対にしないで下さい。
- チャンバーに損傷のある状態では使用しないで下さい。使用前には各部のネジの緩み、摩耗、曲がり、欠損、異物の付着等がないかを必ず点検して下さい。
- 雨のかかる場所に放置及び保管しないで下さい。

〈作業を行う前に〉

- 保安帽・保護メガネ・安全靴・作業用手袋等の保護具を着用し、安全な服装を心がけて下さい。
- 床面の油や障害物で滑ったり、つまづいたりしないように作業場所を整頓し、安定した足場を確保して下さい。

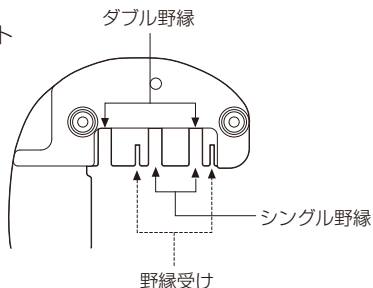
切断対象材 建築用鋼製天井下地材 (JIS A6517・1989)

部材 \ 種類	種類	19形	※25形
シングル野縁	 (A×B×t)	CS-19 (25×19×0.5)	CS-25 (25×25×0.5)
ダブル野縁	 (A×B×t)	CW-19 (50×19×0.5)	CW-25 (50×25×0.5)
野縁受け	 (A×B×t)	CC-19 (38×12×1.2)	—

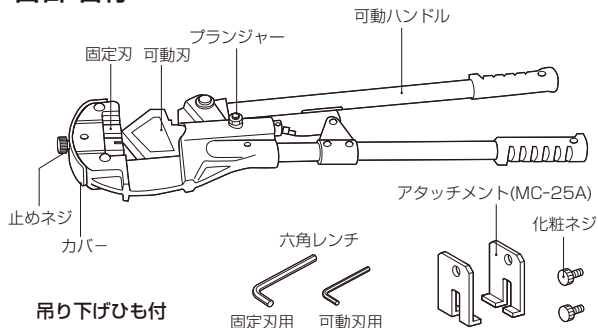
※25形を切断する場合は付属のアタッチメント(MC-25A)が必要です。

切断位置

切断部材により固定刃溝への
セット位置が異なります。
必ず決められた位置にセット
して下さい。(図参照)



各部名称



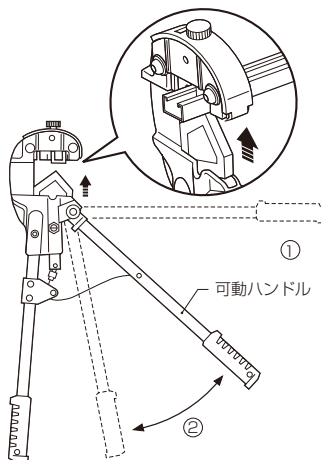
切断方法

①ハンドルを全開（90°）に開き可動刃を拡げておき、固定刃の溝に切断部材をはめ込んだ後ハンドルを閉じます。

②チャンバーを両手でしっかりと保持し、可動ハンドルを利き腕側に持ち、ゆっくり開き「カチッ」と音がして次のラチェットの山に入ったら可動ハンドルを閉じます。

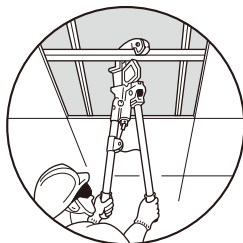
この作業を繰り返し徐々に可動刃を閉じ、部材を切断します。

※ハンドルを開き過ぎると可動刃は全開の位置に戻ってしまいます。



▲注意

- 切断完了時に切断した端材が落下し怪我をする恐れがありますので、端材が落下しない方向で作業を行って下さい。
- 切断時にチャンバーをこじると刃が破損する恐れがあります。

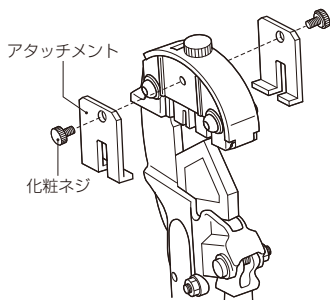


野縁 (25形) を切断する場合

付属のアタッチメント(MC-25A)を使用します。

- アタッチメント(左右)を各々Lの字が内側になるように本体にセットし、化粧ネジで締め付け固定します。

(アタッチメントの切り欠き部と本体のネジ穴を合わせ、本体の突起部溝の間にアタッチメントが収まるようにセットします。)



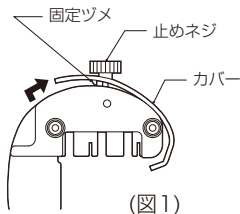
▲注意

- アタッチメントを取付けると野縁受けは切断できません。(野縁受けが変形し刃に詰る原因になります。)
- アタッチメントを取付けたまま野縁(19形)を切断しないで下さい。
- アタッチメントを使用しない時は化粧ネジも外して下さい。

(アタッチメント無しで化粧ネジを締め込んでおくと、可動刃が当たって切断できなくなり、破損の原因となります。)

※チャンバーには、切屑の飛び散り防止用のカバーが取り付けられています。部材を切断ごと(2、3回毎)にカバーを開け、切屑を排出して下さい。切屑が詰まったまま作業を行うと可動部が破損します。

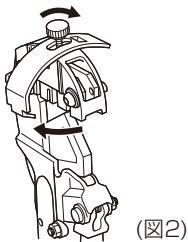
(固定刃の間から切屑が落ちる場合がありますので保護眼鏡を着用して下さい。)



(図1)

切屑の排出方法

- ①止めネジを緩め、カバーの固定ツメを本体から外して図1の矢印方向にスライドさせます。
- ②カバーを90°回転させ、動かないよう止めネジを締め切屑を取り除きます。(図2)
- ③切屑排出後、元通り組み付けて下さい。



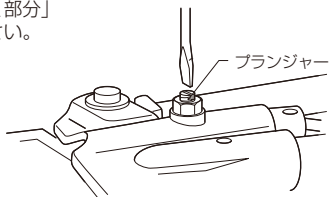
(図2)

●付属の吊り下げひもを両ハンドルに取付けておくと、持ち運びの際ハンドルの開き防止にもなり、また吊り下げておく場合にも便利です。

●快適にご使用頂くために「動く部分」には時々グリスを塗布して下さい。

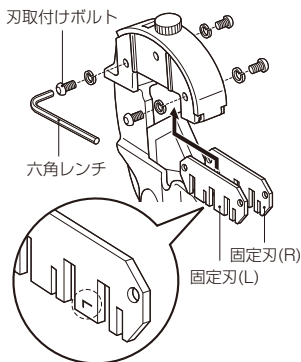
●ラチェットの送りが悪くなった場合は、ナットを緩めプランジャーを増し締めして調整して下さい。

(プランジャーは止まるところまで締めてから半回転ほど緩め、ナットを締めて下さい。)



■固定刃の取り替え方法

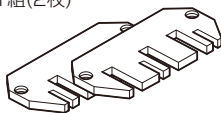
- ①固定刃取付けボルト(左右4箇所)を六角レンチで外し左右の刃を取り外します。
(本体内に切屑や汚れがある場合は清掃して下さい。)
- ②チャンバーの開口側から見て固定刃各々の刻印面(L・R)が外側になるよう新しい左右の刃を取り付けます。
- ③固定刃取付けボルトを六角レンチでしっかり締め付け、左右の刃を固定します。
(固定刃取付けボルトは六角レンチでしっかり締め付けて下さい。)



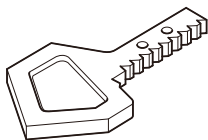
替刃(別売)

●固定刃(MC-19E)

1組(2枚)



●可動刃(MC-19V)

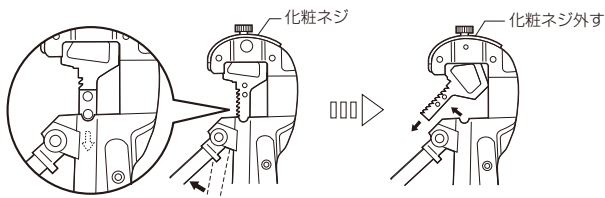
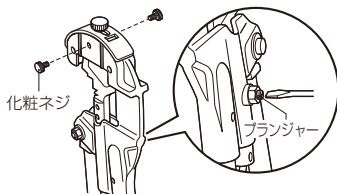
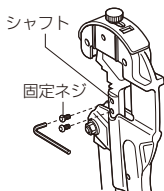


■可動刃の取り替え方法

可動刃の取り替えは、固定刃を片側だけ外しておくことで作業がラクです。

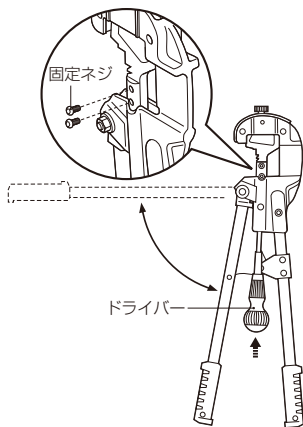
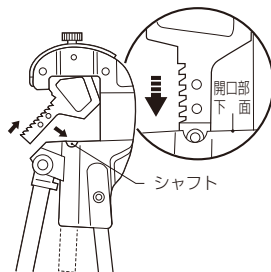
〈刃の外し方〉

- ①刃及びハンドルをいっぱいまで閉じておきます。
- ②可動刃軸(シャフト)の固定ネジ(2本)を六角レンチで外します。
- ③ナット及びプランジャーを緩めます。
- ④アタッチメント用化粧ネジで可動刃を固定し、ハンドルをゆっくり開き可動刃とシャフトを外します。
- ⑤アタッチメント用化粧ネジを外し、可動刃を斜めにして本体から抜き取ります。



〈刃の取付け方〉

- ①チャンバー開口部の下面までシャフトを下から押し上げます。
- ②可動刃のラチェット溝を開口側にし、刃の方から本体にはめ込み、シャフトの溝に可動刃の軸を差し込みます。
- ③シャフトと可動刃が外れていないのを確認して、ハンドルをゆっくり1回開閉した後、ドライバー等でシャフトを下から押し上げます。
- ④可動刃とシャフトのネジ穴を合わせ、固定ネジで仮止めをします。この時、固定ネジがシャフトから出ていないよう注意して下さい。
- ⑤プランジャー及びナットを締め、ラチェットの調整をします。
- ⑥この状態で、可動刃の空送り(全開～全閉)を1～2度行って動きの確認をして下さい。
- ⑦動きが良好であれば、固定ネジをきつく締め付けて下さい。





未来工業株式会社

住 所：大垣市外・輪之内町〒503-02

T E L：(0584)68-0001(代)

連絡先：営業企画課